

【校長室便り】 No.13

H30年6月14日(木) 土佐町小中学校 谷内宣夫

美しい言葉 それはあいさつから!



みなさんは、今朝、お家の方に「おはよう」「いただきます」「ごちそうさま」「行ってきます。」とあいさつをしてきましたか？

各ご家庭ではどうでしょうか？

先年、NHKが日本語の美しい言葉についてアンケート調査をしました。

その結果、

第1位は「ありがとう」

第2位は「さようなら」

第3位は「はい」

第4位は「すみません」

第5位は「おはようございます」

第6位は「さわやか」

第7位は「いらっしゃいませ」

第8位は「おやすみなさい」

第9位は「どうぞ」

第10位は「いいえ」

となっているそうです。



ありがとうございました!



このように、美しい言葉のなかに、いくつものあいさつの言葉が入っています。私たちは、こういう言葉はよく知っています。知ってはいますが、人ときちんとあいさつを交わしているでしょうか？

家庭や学校の朝のスタートで、「おはようございます」と元気なあいさつをすると、お互いにどんなに気持ちがよいのかも知っているはずですよ。



あいさつは、ごく自然に言えるようにしたいものです。学校だけでなく、家庭でも、地域でも、笑顔であいさつをしましょう。必ず、気持ちもすがすがしくなります。

あいさつは、知っている人だけにするのはなく、学校にいらっしゃった方や家庭にお見えになった人、登下校ですれ違う人等に会釈をしながらあいさつをしてみましょう。きっ



と気持ちの良い1日が過ごせるはずですよ。「おはようございます」「ありがとう」を声に出して言ってみましょう。

あいさつは、美しい言葉の代表です。

正しい言葉を使う(言葉の環境)

「あったか言葉とチクチク言葉」佐藤拓著 宝島社に書かれている事を紹介します。



あったか言葉

(自分が言われてうれしい言葉・言われた人が嬉しくなる言葉・優しい言葉)

- ・ありがとう・大丈夫・ファイト・すごいね・ナイス・かっこいい・あなたのおかげ・手伝うことはない?・一緒にやろう・笑顔が素敵・サンキュー・頑張ろう・あいさつの言葉

チクチク言葉

(言われて嫌な気持ちになる言葉・暴力的な言葉・人を傷つける言葉・不愉快な言葉)

- ・死ね・バカ・あほ・きもい・きしょい・うざい・ボケ・消えろ・殺すぞ・どけ・まぬけ・デブ・チビ・ブス・嫌い等々

書籍の一文(抜粋)

もう言葉に無頓着ではられない。



「うざい」「きもい」「死ね」「消えろ」これが現在の四大悪言だと

言われている。若者や子どもたちの世界で、これらの暴力的な言葉がひんぱんに飛び交っている。いじめの道具ともなっている。

～中略～ 「うざい」「きもい」「死ね」「消えろ」と言われて不愉快に思わない者はいない。むしろ言い方にもよるだろうが、基本的に

これらは相手を攻撃するときに使う言葉である。そうである以上、大なり小なり言葉を発する側に相手を痛めつけようという意思が

あり、そのため、受け手側は、心にダメージを受け、ある時は反発し、さらに、強い言葉でもって反撃しようとする。～中略～

しかし、子どもたちの言葉遣いで、根が深い問題なのは、いじめなどに関与していない普通の子が、暴力的な言葉をあまり意識せず、日常的に使っているところにある。

この土佐町小中学校でも、チクチク言葉を聞くことがよくあります。男子だけでなく女子の中にも日常的にちくちく言葉が使われているようです。正しい言葉【あったか言葉】を使い、あったか言葉があふれることで、仲間も大切にすることになるし、自分を大切にすることにもなります。土佐町小中学校を住みよい学校にしていける言葉の環境を意識して、見直してみよう。

